

# 親子聖書日課

NO.1864 2024.6/16-22

名前

[日]誠実に歩んでいても、人から悪く言われることがあります。そんな時、誤解を晴らしたいですが、人に訴えるよりも、主に訴えることが大切です。人を正しく裁くことができるのは、主だけです。主に任せすれば、主が助け導いて下さるのです。

[月]一つの事だけを主に願うとしたら、何でしょう。ダビデは「命ある限り、主の家に宿り、主を仰ぎ望んで喜びを得る」ことでした。宮殿にいるよりも、神殿にいる方が、喜びと希望に満たされました。私達も命ある限り、教会に行き、主を礼拝しましょう。

[火]苦しみにあった時、誰に嘆きますか。主に、「嘆き祈る」ことが一番です。主はどんな嘆きも聞いて、苦しみから救い出して下さいます。ですから、嘆き祈った後は、嘆きません。「嘆き祈る声を聞いて下さった」と心から主を賛美できます。

[水]「主の御声」が繰り返されていますが、恐らく雷鳴の中で歌ったのでしょうか。主の御声は「ゴロンピカ」と恐れをもたらす神の怒りでなく、むしろ神の愛の印です。愛はカミナリ！自然界の脅威の中にある主の御声を聞き、栄光を主に帰しましょう。

[木]どんなに主に癒しを求めても、癒されない病がありますが、魂は癒して下さいます。主の復活の命(永遠の命)が与えられているからです。だから涙の夜(死)を迎えても、喜びの朝(復活)に変えられるのです。癒し以上に、癒し主を求めましょう。

[金]「主よ、御手に私の霊を委ねます」と言って、主は十字架で息を引き取られました。この信頼の故に、神はキリストを死者の中から復活させました。私達も主に信頼して、主の御手に委ねる時、主が責任を取って、万事を益として下さいます。

[土]罪は人に知られたいくないですね。しかし、主は全てをご存知ですから、罪を主に「示し」「隠さず」「告白」することが大切です。主はどんな罪も十字架で赦して下さいますが、罪を告白する時、赦しの恵みを経験し、平安と喜びが与えられます。



	聖書	問題	答え
日	詩編 26:1-12	主に信頼して、どうしたことはありませんか。	
月	27:1-14	一つの主への願いとは命のある限り、どこに宿ることですか。	
火	28:1-9	主は、どのように祈る私の声を聞いてくださいましたか。	
水	29:1-11	主が民を祝福して何を御与えになりますか。	
木	30:1-13	私の神、主よ、叫び求める私を、あなたはどのようにくださいますか。	
金	31:1-25	まことの神、主よ、御手に私の霊をどうしますか。	
土	32:1-11	主に背きを告白するとき主は罪と過ちをどうしてくださいますか。	
感想と祈りの課題			